

2年	科目	工業力学	講義	前期	担当	宮内 太積
機械工学科		Mechanics	必修	1単位		Miyauchi Tatsumi
授業の概要						
力学は、電磁気学及び熱学とともに自然科学系学問の三大柱と呼ばれており、さらに機械系学科にとって将来の専門科目の基礎となる材料力学・流体力学及び熱力学などの基礎をなす学問である。この事実をしっかりと把握させる事を目的としているが、一方、低学年であることを考慮して理解が進むよう講義を進める。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
	○	3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)						
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
前期中間試験までは力、重心の求め方、前期末までは力積と運動量の求め方・摩擦・簡単な機械の求め方が理解できること						
授業計画						
第1回	導入・力	工業力学で使用する単位・絶対単位系・SI単位系				
第2回	力	力の定義・要素・表示・力の向きと大きさ				
第3回	力のつりあい	二力のつりあい・合成・分解				
第4回	力のつりあい	力のモーメント				
第5回	力のつりあい	力の釣合の条件				
第6回	重心	連結体・多数の物体の重心				
第7回	重心	重心の計算				
第8回	前期中間試験					
第9回	摩擦	静止摩擦力と運動摩擦力				
第10回	力積と運動量	力積と運動量・角運動量と力積のモーメント				
第11回	力積と運動量	衝突による運動量保存の法則				
第12回	仕事・動力	仕事・力のモーメントによる仕事				
第13回	仕事・動力	エネルギー保存の法則・動力				
第14回	簡単な機械	てこ・滑車・ねじ・効率				
第15回	まとめと総括	授業アンケート実施				
評価方法と基準	年2回の定期試験(70%)年数回の演習レポート(10%)欠課・欠席状況及び授業態度(20%) 60点以上を合格とする。					
教科書等	教科書：棚澤・坂野・田村・西本著 機械力学入門 日新出版					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					